

# オーストラリア・高配当株ファンド (毎月決算型) 【運用報告書(全体版)】

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2012年6月15日から2022年6月6日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 オーストラリア高配当株式マザーファンド オーストラリアの取引所に上場している高配当株式等
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性に加え、配当余力や配当政策等を勘案して厳選します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 オーストラリア高配当株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

第18作成期 (2020年12月8日から2021年6月7日まで)

第 103 期 / 第 104 期 / 第 105 期  
決算日2021年1月5日 決算日2021年2月5日 決算日2021年3月5日

第 106 期 / 第 107 期 / 第 108 期  
決算日2021年4月5日 決算日2021年5月6日 決算日2021年6月7日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 率 比	投 資 信 託 入 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 込 金 期 騰 落 中 率	配 込 金 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
79期 (2019年1月7日)	6,285	50	△ 8.5	65.4	32.3	5,883
80期 (2019年2月5日)	6,786	50	8.8	66.5	31.9	6,209
81期 (2019年3月5日)	7,221	50	7.1	65.6	31.9	6,203
82期 (2019年4月5日)	7,278	50	1.5	66.0	32.8	6,008
83期 (2019年5月7日)	6,955	50	△ 3.8	64.2	34.7	5,236
84期 (2019年6月5日)	6,801	50	△ 1.5	61.1	36.8	4,992
85期 (2019年7月5日)	7,082	50	4.9	60.6	36.9	5,099
86期 (2019年8月5日)	6,713	50	△ 4.5	59.8	38.8	4,713
87期 (2019年9月5日)	6,522	50	△ 2.1	57.3	40.6	4,536
88期 (2019年10月7日)	6,411	50	△ 0.9	54.8	43.3	4,401
89期 (2019年11月5日)	6,806	50	6.9	54.5	44.3	4,616
90期 (2019年12月5日)	6,606	50	△ 2.2	51.1	47.0	4,156
91期 (2020年1月6日)	6,740	50	2.8	51.1	47.6	4,015
92期 (2020年2月5日)	6,637	50	△ 0.8	52.5	44.7	3,838
93期 (2020年3月5日)	5,970	50	△ 9.3	51.0	45.1	3,397
94期 (2020年4月6日)	4,146	50	△ 29.7	54.5	40.6	2,355
95期 (2020年5月7日)	4,469	50	9.0	55.4	40.3	2,540
96期 (2020年6月5日)	5,574	50	25.8	53.8	43.5	3,187
97期 (2020年7月6日)	5,441	50	△ 1.5	49.5	47.7	3,124
98期 (2020年8月5日)	5,472	50	1.5	50.1	47.6	3,120
99期 (2020年9月7日)	5,545	50	2.2	47.9	49.3	3,122
100期 (2020年10月5日)	5,243	50	△ 4.5	46.9	50.5	2,908
101期 (2020年11月5日)	5,307	30	1.8	51.3	47.1	2,877
102期 (2020年12月7日)	6,028	30	14.2	58.3	39.9	3,018
103期 (2021年1月5日)	6,220	30	3.7	52.7	40.9	2,871
104期 (2021年2月5日)	6,226	30	0.6	56.4	41.6	2,692
105期 (2021年3月5日)	6,550	30	5.7	60.7	34.6	2,719
106期 (2021年4月5日)	6,706	30	2.8	62.1	35.2	2,665
107期 (2021年5月6日)	6,906	30	3.4	62.9	34.2	2,662
108期 (2021年6月7日)	7,045	30	2.4	64.2	33.6	2,630

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準	価額		株式組入率	投資信託証券比率
			騰落率	騰落率		
第103期	(期首) 2020年12月7日	円	6,028	% —	% 58.3	% 39.9
	12月末		6,289	4.3	51.2	41.4
	(期末) 2021年1月5日		6,250	3.7	52.7	40.9
第104期	(期首) 2021年1月5日		6,220	—	52.7	40.9
	1月末		6,199	△0.3	55.5	42.4
	(期末) 2021年2月5日		6,256	0.6	56.4	41.6
第105期	(期首) 2021年2月5日		6,226	—	56.4	41.6
	2月末		6,537	5.0	60.6	36.2
	(期末) 2021年3月5日		6,580	5.7	60.7	34.6
第106期	(期首) 2021年3月5日		6,550	—	60.7	34.6
	3月末		6,665	1.8	61.6	34.9
	(期末) 2021年4月5日		6,736	2.8	62.1	35.2
第107期	(期首) 2021年4月5日		6,706	—	62.1	35.2
	4月末		6,874	2.5	62.6	34.1
	(期末) 2021年5月6日		6,936	3.4	62.9	34.2
第108期	(期首) 2021年5月6日		6,906	—	62.9	34.2
	5月末		6,960	0.8	63.4	33.3
	(期末) 2021年6月7日		7,075	2.4	64.2	33.6

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

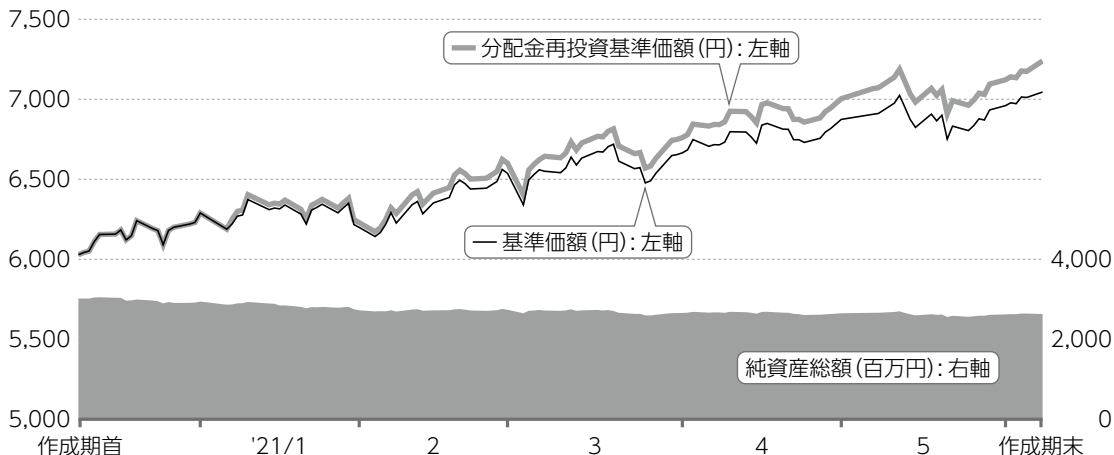
※当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	6,028円
作成期末	7,225円 (当作成期分配金180円(税引前)込み)
騰落率	+20.1% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 多くの国・地域においてワクチン接種が本格化し、景気回復期待が強まったことで、世界的に株式市場が堅調に推移し、オーストラリア株式市場も上昇したこと
- 作成期を通じてみれば、オーストラリアドル高・円安となったこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	騰落率	作成期末組入比率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	外国株式	+21.0%	100.6%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

オーストラリア株式市場は、上昇しました。為替相場では、オーストラリアドル高・円安となりました。

### オーストラリア株式市場

作成期初から2021年2月上旬にかけて、オーストラリア株式市場は概ね横ばいでした。米国において、1月の上院選決戦投票で民主党が勝利したことやバイデン大統領の就任により、追加経済対策の期待が強まりました。またコロナワクチンの開発進展も株価を下支えしました。一方で、オーストラリア株式市場は、米国の長期国債利回り（長期金利）の上昇懸念や一部の国・地域で変異型ウイルスの発生・拡大もあり、もみ合いとなりました。その後は、米国長期金利の動向に左右されながらも、ワクチン接種が本格化したことや景気回復により商品価格が上昇したことから、銀行や鉱山銘柄などを中心にオーストラリア株式市場は作成期末まで上昇しました。

当作成期の市場の動きをS & P / A S X 200インデックスで見ると、作成期首に比べて10.0%上昇しました。

### 為替市場

作成期初から2021年2月末にかけて、世界的な景気回復期待が強まり米国長期金利が上昇したことを受け、為替市場では米ドル高・円安の動きとなり、オーストラリアドルも対円で上昇しました。その後はレンジの動きとなり、作成期を通じてみるとオーストラリアドル高・円安となりました。

当作成期のオーストラリアドル・円は、作成期首77円33銭から作成期末は84円77銭となり、7円44銭のオーストラリアドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

## 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を行いました。作成期を通して「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入れを高位に保ちました。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ●株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、作成期を通じて高位を維持しました。

### ●業種配分

REIT（不動産投資信託）など、業績の安定度が相対的に高いと判断される業種を多く組み入れましたが、不動産価格の上昇により、投資口価格が上昇したことから一部の銘柄を売却し、REITの組入比率を引き下げました。また、鉄鉱石や原油など商品市況の上昇を受けて株価が堅調だったエネルギーや素材（鉱山）の組入比率を引き下げました。一方、オーストラリア国内の経済活動が回復していることもあって、恩恵が期待される銀行など金融株の組入比率を引き上げました。

### ●ポートフォリオの特性

ファンド全体の予想配当利回りは、概ね4%台から5%台の水準を維持しました。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ベンチマークとの差異について（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

当作成期の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ30円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	(0.480%)	(0.480%)	(0.456%)	(0.445%)	(0.433%)	(0.424%)
当期の収益	28	0	30	20	4	30
当期の収益以外	1	29	－	9	26	－
翌期繰越分配対象額	572	543	598	588	563	681

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。



## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を継続します。「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入比率は高位に保つ予定です。

### オーストラリア高配当株式マザーファンド

多くの国・地域において、ワクチン接種の加速とともに経済・社会活動の正常化が着実に進んでいます。経済の正常化に沿っ

て世界的に長期金利が上昇する可能性は残るものの、主要国の中央銀行は当面緩和的な金融政策を維持すると見込まれることから、過大な懸念は必要ないと判断しています。

本格的な企業活動の再開を背景にオーストラリア株式市場は堅調に推移する見通しであり、組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別していく方針です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### 1万口当たりの費用明細（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信 託 報 酬</b>	<b>52円</b>	<b>0.795%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">期中の平均基準価額は6,587円です。</span>
（投 信 会 社）	(25)	(0.384)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販 売 会 社）	(25)	(0.384)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>7</b>	<b>0.109</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b>
（株 式）	(5)	(0.072)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.037)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b>
（株 式）	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公 社 債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
<b>(d) そ の 他 費 用</b>	<b>2</b>	<b>0.028</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b>
（保 管 費 用）	(2)	(0.025)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合 計</b>	<b>61</b>	<b>0.932</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

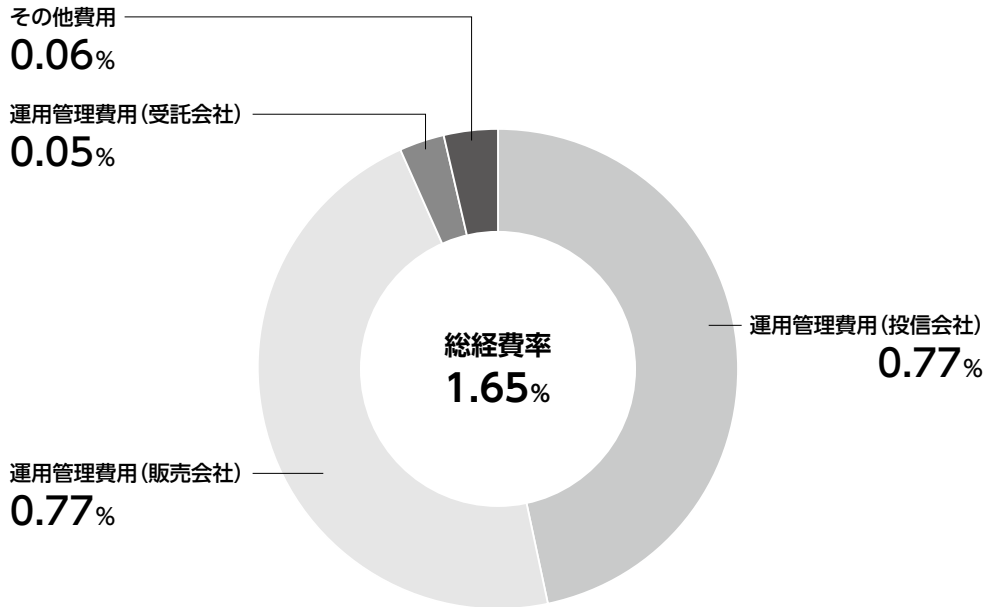
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.65%です。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 6,280	千円 15,838	千口 373,797	千円 931,190

### ■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

項 目	当 作 成 期
	オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	1,365,480千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	1,941,155千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.70

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細（2021年6月7日現在）

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 1,311,441	千口 943,923	千円 2,644,968

※オーストラリア高配当株式マザーファンドの作成期末の受益権総口数は1,157,871千口です。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ■ 投資信託財産の構成

（2021年6月7日現在）

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千円 2,644,968	% 99.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	24,998	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	2,669,966	100.0

※オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産（3,188,487千円）の投資信託財産総額（3,269,213千円）に対する比率は97.5%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル＝84.77円です。

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2021年1月5日）（2021年2月5日）（2021年3月5日）（2021年4月5日）（2021年5月6日）（2021年6月7日）

項 目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
<b>(A) 資 産</b>	<b>2,930,756,866円</b>	<b>2,719,469,837円</b>	<b>2,745,955,581円</b>	<b>2,689,637,595円</b>	<b>2,683,647,556円</b>	<b>2,669,966,338円</b>
コール・ローン等	1,833,148	617,956	1,079,932	1,068,698	4,258,783	550,786
オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	2,888,615,250	2,709,340,695	2,734,676,002	2,680,646,622	2,677,041,212	2,644,968,950
未 収 入 金	40,308,468	9,511,186	10,199,647	7,922,275	2,347,561	24,446,602
<b>(B) 負 債</b>	<b>59,474,745</b>	<b>26,642,609</b>	<b>26,784,213</b>	<b>24,267,653</b>	<b>21,487,189</b>	<b>39,585,934</b>
未払収益分配金	13,847,959	12,975,355	12,453,628	11,924,662	11,564,879	11,201,611
未 払 解 約 金	41,847,804	9,835,410	10,985,931	8,697,392	6,312,819	24,703,985
未 払 信 託 報 酬	3,763,412	3,816,053	3,330,877	3,630,576	3,594,603	3,665,166
未 払 利 息	4	1	2	2	10	1
その他未払費用	15,566	15,790	13,775	15,021	14,878	15,171
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,871,282,121</b>	<b>2,692,827,228</b>	<b>2,719,171,368</b>	<b>2,665,369,942</b>	<b>2,662,160,367</b>	<b>2,630,380,404</b>
元 本	4,615,986,526	4,325,118,606	4,151,209,515	3,974,887,517	3,854,959,822	3,733,870,519
次期繰越損益金	△1,744,704,405	△1,632,291,378	△1,432,038,147	△1,309,517,575	△1,192,799,455	△1,103,490,115
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>4,615,986,526口</b>	<b>4,325,118,606口</b>	<b>4,151,209,515口</b>	<b>3,974,887,517口</b>	<b>3,854,959,822口</b>	<b>3,733,870,519口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>6,220円</b>	<b>6,226円</b>	<b>6,550円</b>	<b>6,706円</b>	<b>6,906円</b>	<b>7,045円</b>

※当作成期における作成期首元本額5,006,990,130円、作成期中追加設定元本額109,178,661円、作成期中一部解約元本額1,382,298,272円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。



# オーストラリア高配当株式マザーファンド

第18期（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

信託期間	無期限（設定日：2012年6月15日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。</li> <li>外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。</li> </ul>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	率			
	円		%	%	%	百万円
14期（2019年6月5日）	22,023		3.4	60.6	36.5	6,141
15期（2019年12月5日）	22,544		2.4	50.7	46.6	5,159
16期（2020年6月5日）	20,266	△	10.1	53.3	43.0	4,415
17期（2020年12月7日）	23,159		14.3	57.9	39.6	4,342
18期（2021年6月7日）	28,021		21.0	63.8	33.4	3,244

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2020年12月7日	23,159		—	57.9	39.6
12月末	24,184		4.4	51.1	41.4
2021年1月末	23,983		3.6	55.4	42.3
2月末	25,442		9.9	60.5	36.2
3月末	26,092		12.7	61.6	34.9
4月末	27,067		16.9	62.5	34.1
5月末	27,560		19.0	63.4	33.2
(期 末)					
2021年6月7日	28,021		21.0	63.8	33.4

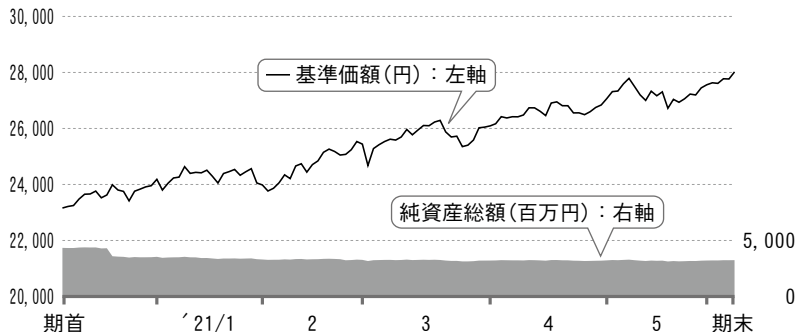
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

#### 基準価額等の推移



期首	23,159円
期末	28,021円
騰落率	+21.0%

### ▶ 基準価額の主な変動要因（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

当ファンドは、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- ・多くの国・地域においてワクチン接種が本格化し、景気回復期待が強まったことで、世界的に株式市場が堅調に推移し、オーストラリア株式市場も上昇したこと
- ・期を通じてみれば、オーストラリアドル高・円安となったこと

### ▶ 投資環境について（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

オーストラリア株式市場は、上昇しました。為替相場では、オーストラリアドル高・円安となりました。

#### オーストラリア株式市場

期初から2021年2月上旬にかけて、オーストラリア株式市場は概ね横ばいでした。米国において、1月の上院選決戦投票で民主党が勝利したことやバイデン大統領の就任により、追加経済対策の期待が強まりました。またコロナワクチンの開発進展も株価を下支えしました。一方で、オーストラリア株式市場は、米国の長期国債利回り（長期金利）の上昇懸念や一部の国・地域で



変異型ウイルスの発生・拡大もあり、もみ合いとなりました。その後は、米国長期金利の動向に左右されながらも、ワクチン接種が本格化したことや景気回復により商品価格が上昇したことから、銀行や鉱山銘柄などを中心にオーストラリア株式市場は期末まで上昇しました。

当期の市場の動きをS & P / A S X 200インデックスで見ると、期首に比べて10.0%上昇しました。

### 為替市場

期初から2021年2月末にかけて、世界的な景気回復期待が強まり米国長期金利が上昇したことを受け、為替市場では米ドル高・円安の動きとなり、オーストラリアドルも対円で上昇しました。その後はレンジの動きとなり、期を通じてみるとオーストラリアドル高・円安となりました。

当期のオーストラリアドル・円は、期首77円33銭から期末は84円77銭となり、7円44銭のオーストラリアドル高・円安となりました。

---

### ▶ ポートフォリオについて (2020年12月8日から2021年6月7日まで)

---

#### 株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

#### 業種配分

REIT（不動産投資信託）など、業績の安定度が相対的に高いと判断される業種を多く組み入れましたが、不動産価格の上昇により、投資口価格が上昇したことから一部の銘柄を売却し、REITの組入比率を引き下げました。また、鉄鉱石や原油など商品市況の上昇を受けて株価が堅調だったエネルギーや素材（鉱山）の組入比率を引き下げました。一方、オーストラリア国内の経済活動が回復していることもあって、恩恵が期待される銀行など金融株の組入比率を引き上げました。

#### ポートフォリオの特性

ファンド全体の予想配当利回りは、概ね4%台から5%台の水準を維持しました。

---

### ▶ ベンチマークとの差異について (2020年12月8日から2021年6月7日まで)

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

多くの国・地域において、ワクチン接種の加速とともに経済・社会活動の正常化が着実に進んでいます。経済の正常化に沿って世界的に長期金利が上昇する可能性は残るものの、主要国の中央銀行は当面緩和的な金融政策を維持すると見込まれることから、過大な懸念は必要ないと判断しています。

本格的な企業活動の再開を背景にオーストラリア株式市場は堅調に推移する見通しであり、組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別していく方針です。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2020年12月8日から2021年6月7日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	28円 (18) (10)	0.108% (0.071) (0.037)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.025 (0.025) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	34	0.133	

期中の平均基準価額は25,721円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2020年12月8日から2021年6月7日まで)

#### (1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株 1,000	千オーストラリアドル 3,058	百株 10,450	千オーストラリアドル 13,888

※金額は受渡し代金。

#### (2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	オーストラリア	CHARTER HALL RETAIL REIT	口	千オーストラリアドル	口	千オーストラリアドル
		APA GROUP	—	—	60,000	211
		ALE PROPERTY GROUP	—	—	50,000	514
		STOCKLAND	—	—	40,000	188
		DEXUS	—	—	350,000	1,570
		SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	—	—	20,000	172
		GROWTHPOINT PROPERTIES AUS	—	—	300,000	641
		CHARTER HALL LONG WALE REIT	—	—	410,000	1,389
		NATIONAL STORAGE REIT	—	—	380,000	1,796
		CHARTER HALL SOCIAL INFRASTRUCTURE REIT	—	—	550,000	1,071
国		RURAL FUNDS GROUP	—	—	490,000	1,528
	合 計	—	—	210,000	508	
		—	—	2,860,000	9,592	

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

### ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年12月8日から2021年6月7日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,365,480千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,941,155千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.70

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2020年12月8日から2021年6月7日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年12月8日から2021年6月7日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■ 組入れ資産の明細 (2021年6月7日現在)

### (1) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円		
AUST AND NZ BANKING GROUP LT	1,600	1,100	3,212	272,281	銀行	
AMCOR PLC-CDI	700	700	1,082	91,738	素材	
WESTPAC BANKING CORPORATION	300	1,100	2,955	250,554	銀行	
FORTESCUE METALS GROUP LIMITED	1,400	—	—	—	素材	
TELSTRA CORPORATION LIMITED	7,000	5,000	1,790	151,738	電気通信サービス	
BHP GROUP LTD	600	300	1,462	123,976	素材	
ORIGIN ENERGY LIMITED	2,500	—	—	—	エネルギー	
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	600	300	3,075	260,718	銀行	
RIO TINTO LIMITED	310	110	1,370	116,204	素材	
SUNCORP GROUP LTD	1,939	1,939	2,191	185,746	保険	
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	314	314	864	73,318	銀行	
JB HI-FI LTD	200	200	968	82,074	小売	
ALUMINA LTD	16,000	16,000	2,760	233,965	素材	
MAGELLAN FINANCIAL GROUP LTD	—	200	995	84,346	各種金融	
MACQUARIE GROUP LTD	100	50	770	65,272	各種金融	
AURIZON HOLDINGS LTD	1,600	1,600	595	50,455	運輸	
ORORA LTD	3,200	—	—	—	素材	
COLES GROUP LIMITED	200	200	340	28,889	食品・生活必需品小売り	
合 計	株 数 銘 柄 数	金 額 <比 率>	38,563 17	29,113 15	24,434 —	2,071,280 <63.8%>

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### (2) 外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		組 入 比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(オーストラリア)	口	口	千オーストラリアドル	千円	%
CHARTER HALL RETAIL REIT	160,000	100,000	381	32,297	1.0
APA GROUP	220,000	170,000	1,572	133,300	4.1
ALE PROPERTY GROUP	290,000	250,000	1,127	95,578	2.9
STOCKLAND	500,000	150,000	711	60,271	1.9
DEXUS	80,000	60,000	632	53,608	1.7
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	1,100,000	800,000	1,744	147,838	4.6
GROWTHPOINT PROPERTIES AUS	687,418	277,418	1,081	91,715	2.8
CHARTER HALL LONG WALE REIT	600,000	220,000	1,056	89,517	2.8
NATIONAL STORAGE REIT	900,000	350,000	731	62,009	1.9
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTRUCTURE REIT	870,000	380,000	1,322	112,099	3.5
RURAL FUNDS GROUP	1,166,665	956,665	2,439	206,796	6.4
合 計	証 券 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	6,574,083 11	3,714,083 11	12,799 —	1,085,032 <33.4%>

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

### ■ 投資信託財産の構成

(2021年6月7日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
投 資 証 券	2,071,280	63.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	112,901	3.4
投 資 信 託 財 産 総 額	3,269,213	100.0

※期末における外貨建資産（3,188,487千円）の投資信託財産総額（3,269,213千円）に対する比率は97.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=84.77円です。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年6月7日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	3,269,213,842円
コーポレート債券等 株式(評価額)	97,049,121
投資証券(評価額)	2,071,280,131
未収配当金	1,085,032,768
(B) 負 債	15,851,822
未払解約金	24,686,221
未払利息	194
その他未払費用	658
(C) 純資産総額(A-B)	24,687,073
元 本	3,244,526,769
次期繰越損益金	1,157,871,341
(D) 受益権総口数	2,086,655,428
1万口当たり基準価額(C/D)	1,157,871,341円
	28,021円

※当期における期首元本額1,874,926,968円、期中追加設定元本額22,244,942円、期中一部解約元本額739,300,569円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

オーストラリア・高配当株ファンド(毎月決算型)	943,923,825円
オーストラリア・高配当株ファンド(年1回決算型)	26,409,843円
SMAM・オーストラリア高配当株ファンド(適格機関投資家専用)	187,537,673円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2020年12月8日 至2021年6月7日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	91,020,496円
受 取 配 当 金	91,053,524
支 払 利 息	△ 33,028
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	555,774,003
売 買 益	642,240,727
売 買 損	△ 86,466,724
(C) 信 託 報 酬 等	△ 822,891
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	645,971,608
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,467,189,398
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	33,963,047
(G) 解 約 差 損 益 金	△1,060,468,625
(H) 計 (D+E+F+G)	2,086,655,428
次 期 繰 越 損 益 金(H)	2,086,655,428

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。